

# 漢字の成り立ち

名前	組	月	日	正答数
	番			
				2

ねらい

●漢字の成り立ちを理解する。  
●漢字ごとにその成り立ちを区別できる。

## 要点チェック

●漢字の成り立ち(次の四つがあります。)

①目に見える形がある物を、具体的にえがいたもの。

例 山・門・火・鳥・目 など。

②目に見えない事गरらる、印や記号を使って表したもの。

例 上・本・三 など。

③漢字の意味を組み合わせたもの。

例 鳴・信・岩 など。

④音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。

例 板・粉・帳・預・郡・復 など。

### 例題

次の漢字の中から、音を表す部分と意味を表す部分に分けられるものをつ選びましょう。

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 手 | 2 | 下 |
| 3 | 林 | 4 | 課 |

### ♡考え方♡

まず、二つの部分に分けられる漢字をさがす。その中から、漢字全体の音読みが音を表す部分の音読みと共通しているものを選ぶ。

答え 4

## 問題

次の漢字の成り立ちの説明として正しいものを、あとから一つずつ選びましょう。

- ① 球 へ へ ② 馬 へ へ
- 二つの漢字の意味を組み合わせた。
  - 形に表しにくい事गरらる、印を使って表した。
  - 具体的な形がある物を、略してえがいた。
  - 音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせた。

漢字の成り立ち



① 4  
② 3

①は、「王」が意味を表し、「求」が音を表しています。

②は、ウマのすがたをもとにして作られた漢字です。